

異業種ネットワークの広域展開について（11月4～5日石川大会に出席して）

芝 忠

INF（異業種ネットワークフォーラム）第6回全国大会 in 石川が、11月5日金沢市で570名（神奈川県から約60名）の参加で大成功のうちに終了しました。前日の4日も（財）中小企業異業種交流財団主催による「平成16年度異業種交流・融合化推進研究会」があり、参加者の1/5が我々神奈川からで大変気をはきました。次回のINF大会開催地は大阪と決定しました。

フォーラムは一日中ITビジネスマッチングが開催され、併行して午前中に第4回広域ネットワーク化研究会、午後は基調講演「平野・金沢美術工芸大学学長」、分科会（6テーマ）、パネルディスカッション、交流懇親会と手際よく進められました。

開会セレモニーでは、経済産業省商務情報政策局情報化人材室・野口室長からご挨拶をいただき、また第5分科会（広域異業種ネットワーク）では、中小企業庁経営支援部創業連携推進課・北川課長から「中小企業新法（中小企業経営革新等総合支援法一仮称）」のご説明を頂きました。本省の課長級以上の方が2名も遠路参加いただくのはINF大会では初めてで、感謝申し上げます。

従来より、一部の地域からINF大会に疑問や懸念が投げかけられていましたが、今回の「広域ネットワーク化研究会」やINF第5分科会での討議の結果、かなり氷解したとの評価を頂きました。その一端を紹介いたします。

- (1) INF大会は神奈川主導ではないか：当初提案したのは神奈川ですが、以後は持ち回りで各開催地が地域性を生かして自主的に企画・開催・運営しています
- (2) 中央に対立するのではないか：もともと官主導型ではなく、広く民間異業種グループ、団体、大学、個人、等々が企画会議に結集して行っています。むしろこのような自発的な草の根的運動を官も期待しています。今回経済産業省が主催となりましたのもその現れと考えます。
- (3) 異業種交流財団との関係：すでに数年前から企画会議への参加や、予算的にも実質的な主催者として、さまざまな便宜を図って頂いております。後述する「広域ネットワークシステム」もむしろ財団と共に発展・展開していきたいと考えて提案しています。
- (4) 広域ネットワークシステムと異業種交流財団理事長提案のデータベースとの関係：全国異業種グループリストは独立行政法人中小企業基盤整備機構が保有しています。これに異業種交流財団参加企業の情報を加味しデータベースを構築するのはその機関の業務機能の一つと考えます（理事長ご提案内容）。

一方INFでの広域ネットワークは全国の賛同するグループに呼びかけ、限定的なシステムを構築したいと考えています。いままでの4回にわたる研究会の討議を踏まえ、今後1年間で次の構想の具体化を図りたいと思います。

- ① 初年度3千社程度の登録を目標に数百社からスタートする。
- ② 登録費用は1万円程度を考える。
- ③ システムは大阪などが成功しているものを参考にする。
- ④ 専門の管理者兼営業担当者を置く。
- ⑤ 登録企業は各都道府県を代表する協議会、他等の紹介による。
- ⑥ 7つの機能を考える。受発注、相談、販売、開発支援、広報、イベント、資金調達
- ⑦ 運営事務局を異業種交流財団を第一義に考える。

これに関し、愛媛からは「新たなネットワークの機能が受発注だけなら、既存の自社ホームページを改善すればよく、改めてシステム構築する必要はない」という意見も出ております。

当日の第5分科会では、今後の「広域ネットワーク研究会」の進め方までは議論しませんでした。本来INF企画委員会で検討すべき事項だと私は考えます。なお、其の他の分科会でも極めて活発な意見が出ているようですので、参加者各位から順次ご報告頂きたいと思っております。

了

主要な“かながわ異グ連”のプロジェクト、及び研究会の活動報告、PR

まんてんプロジェクト

千田BC

7月18日にまんてんグループの中核会社の(株)JASPAが発足して以来、航空・宇宙市場への参入を目指して活動を展開している。会員企業は発足時から増加し11月1日現在で49社となった。

(1)ジャパン・エアロスペース2004展示会出展

10月6-10日までパシフィコ横浜で開催されたわが国最大の航空宇宙に関する国際展示会(4年ごとに開催、主催：日本航空宇宙工業会)に全世界からの総出展343社・団体の一つとして単独出展した。まんてんブースでは会員企業各社が自社技術の展示を行った。中小企業グループのユニークな活動として内外の注目を集め、10月12日のNHK首都圏ニュースでは、青木会長のインタビューを初めまんてんプロジェクトの概要が紹介された。

(2)品質保証業務開始の準備

JASPAは、会員企業に対し品質保証サービスを提供し、航空・宇宙市場参入を支援するためカールツアイス社の超精密三次元測定装置の導入を決定し、11月からの稼動をめどに諸準備をすすめている。

(3)JAXAプロジェクトへの参加

JAXAが主催する宇宙ビジネス参入支援のプロジェクト「オープン宇宙ラボ」にたいし、日本発の新規技術開発プロジェクト数件を会員企業、大学、JAXAの産学連携により提案することとし準備中である。

オールディーズ・シニア・クラブ 小林BC

講演「健康と水」は興味深いものでした！

本年6月に発足したミニ・クラブ「環境クラブ」が10月8日(金)の定例会で第1回目の講演を行いました。講師は(株)サンシャイン取締役の岡田氏でした。

- ①世界には「奇跡の水」と呼ばれ、健康を回復させるという評判の水があります。
- ②九州大学院の白畑実隆教授の研究によれば、これらの水に共通しているのは、活性水素を多く含んでいることです。
- ③活性水素は様々な病気の原因となる活性酸素と反応して水になることにより、活性酸素の毒性を消してしまうと考えられます。
- ④日本では、日田天領水など大分県の日田で採取される水に匹敵するような活性水素水は、今のところ他に見当たりません。
- ⑤活性水素水の効力は48時間なので、ポット等での販売は難しく、器具を使用せざるを得ないのが現状です。

関内地域活性化プロジェクト

織方BC

事業家に向けての具体案が出揃った。これからのアクションプログラムや提携先との折衝が課題だ。すなわち、産学公民連携による関内ブランド再構築のための「文化&デザインビジネス活性化センター」のNPO法人化構想です。

具体的な10件のプロジェクト(prj)は次のとおりです。なお各プロジェクト名称は仮称です。

- (1)関内地域ブランド事業化の為の文化的知的活用化 prj
- (2)地域コミュニティー型介護福祉ネットワーク prj
- (3)健康志向型医薬品相互作用情報センターprj
- (4)関内ブランド「食」創出事業化 prj
- (5)中小企業連携型ファッションブランド事業化 prj
- (6)横浜グローバルエンターテインメント(芸術、特に音楽)事業化 prj
- (7)関内観光文化推進事業化 prj
- (8)市民スポーツ団体(例サッカー)との連携 prj
- (9)かながわ里山リサイクル構想 prj
- (10)市民参加型デザインビジネススクール構想事業化 prj

公的補助金活用普及研究会

志岐AD (研究会事務局長)

公的補助金申請支援アドバイザーを希望する熱意のある方を募集いたします！

【研究会の目的】 当研究会は、「新たな補助金コンサルタントビジネスの発案と事業化、資金難に悩む中小企業への支援システムの開発並びに申請書の書き方の支援を通して、公的補助金の普及啓発、中小企業者の資金難の緩和、人材育成及び社会貢献事業に資すること」を目的としております。

【研究会の事業内容】

- (1) 公的補助金申請についての助言及び相談事業
- (2) 公的補助金に関する書籍の出版及び販売事業
- (3) 公的補助金に関する講演会等への講師派遣事業
- (4) 補助金に関する各種情報収集、提供事業
- (5) 補助金に関するセミナー開催事業
- (6) 「資金アドバイザー」資格取得教育事業

【会費制(新設)】 入会金4,000円 年会費(H16年度分)6,000円

(ご照会、お申込みは事務局 TEL:03-3209-0841 E-Mail: bsupport@dream.ocn.ne.jp 志岐まで)

三浦海洋深層水を楽しむ会

八幡BC

10月23、24日の両日、三浦さかな祭りが開催され、当会も海洋深層水のコーナーを出展し、試飲、試食によるPRに努めた。幸いにも快晴に恵まれ、何処から人が湧き出たかと思議に思う程、普段の三崎港からはとても想像できない盛況さであった。深層水製品の豆腐、塩辛、麺、日本酒と用意したものは全て捌けてしまった。当面の目的は達したものの、用途に対する提言といった踏み込んだレベルを期待した方がムリだったのかも知れない。

当会では過去一年半にわたり、海洋深層水の科学的理解と健全な利用等に努力してきたものの、地域に拘ってでは限界があり、全国的なネットワークによって問題解決に協働する必要性を痛感する向きもあった。そこで、このような問題意識を持つ全国の関係者によって、**NPO法人「日本海洋深層水協会（代表：中島博士・・当会顧問）」が、横浜市神奈川区台町17-6森ビル4F（045-312-1321）に設立され、全国10支部体制による活動を目指すことになった。**本部組織は事業部（交流促進委員会、情報サービス委員会、マーケティング支援委員会）と研究センター（基礎研究委員会、実用化研究委員会、オープンラボ委員会）を擁し、異グ連との連携も生じてくるかとも思われる。設立されたばかりで、どのように進むのか、当会との関係はどうか、敬愛を持って支援したい。創立記念式典が11月21日（日）に、横浜市内で挙行される予定であり、詳細は何れまた。

第47回日韓ビジネス協議会

高橋BC

第47回・日韓ビジネス協議会は10月27日（水）に(社)韓国貿易協会東京支部で開催しました。出席者は16名でした。

- 会社紹介：(株)ネッサスコミュニティー日本支社長 李 在仁氏
- 最近の韓国情報など：(社)韓国貿易協会 支部長 朴 良燮氏
- 日韓ビジネスのアクション報告：事務局 高橋導徳
- 「日韓の海運物流状況に関して」：

(株)韓進海運東京支店長 常務取締役 崔 英培氏

次回の第49回・日韓ビジネス協議会は下記の予定です。詳細は近く決定されますがメインスピーチは松木商事(株)代表取締役 松木國俊氏「韓国企業との取引について」の予定です。

1. 日時：11月25日（木）午後3：00～5：00
2. 場所：神奈川中小企業センター5階 会議室
3. 会費：1,000円（簡単な懇親会を含む）

関心ある企業の参加を歓迎致します。参加時には事務局の高橋まで連絡して下さい。TEL：045-311-0094

シフト21

有村BC

「シフト21」は経営変革を目指す企業と人の交流を図るグループで、業種・業態を問わない幅広い交流を目的としています。毎月第2火曜日に定例会を開催し、外部講師による講演、会員からの話題提供による議論、先進企業視察などを通じて交流と研鑽を図っています。

12月定例会は、12月14日（火）午後6時～、東武第三ビル（横浜駅徒歩10分）で行います。

シフト21では参加を歓迎しております（初回参加は無料）お問合せは有村まで。

hda00467@nifty.ne.jp

イベント紹介！ C&Sグループ20周年記念大会が開催されます！！

永年神奈川異グ連と共に歩んできたC&Sグループ（会長 八幡敬和氏）が20周年を迎えます。C&Sグループの会員の多くは、神奈川中小企業センタービジネスコーディネータ、異グ連交流アドバイザーとして活躍してこられ、その経験からの研究成果が発表されます。ぜひご参加ください。

日時：平成16年11月22日（月）14:00～17:00、会場：(財)中小企業センター 13階 第2会議室

内容：記念式典に引き続き、会員による研究発表を行います。

- | | | |
|---------------------------|-----|-------|
| 1)「環境 ISO が変わる、EA21 が変わる」 | 発表者 | 吉池 正樹 |
| 2)「個人情報保護法とプライバシーマーク」 | 発表者 | 菊地 博 |
| 3)「元気な企業はここが違う」 | 発表者 | 加藤 文男 |
| 4)「異業種交流活動はこうする」 | 発表者 | 島津 龍男 |

「異グ連20年を語る」という座談会が先日開催されました！

相楽BC

“神奈川異グ連20年記念誌”の発行を予定しております。10月26日（火）に、記事の一環として「異グ連20年を語る」座談会が開催されました。出席者は(アイウエオ順で)

坂本徳博氏（横浜産業振興公社）、

島津龍男氏（ビジネスコーディネータ、C&S会員）、

根岸良吉氏（ビジネスコーディネータ、元産総研所長）、

柳田一千一氏（横浜ベンチャークラブ設立者）

の4氏で、事務局からは芝、相楽が参加いたしました。

(次頁へ続く)

芝事務局長の作った今までの資料の他、柳田氏が今までの雑誌記事を持参され、それを見ると、発足当時の考えの一端を知ることができました。

座談会では、柳田氏から「横浜ベンチャークラブ（通称：横ベン）」の思い出、そして現在への切り替えなどをはじめとし、各氏より20年間の活発な活動の内容が紹介されました。また、4代にわたる異グ連会長の菅野氏、柴田氏、田村氏、南出氏がそれぞれの時代に合った「異業種グループ」の代表として、議長に就任されていることなども浮き彫りにされました。例えば、初代の菅野氏は中小企業開発センターから、2代目の柴田氏は融合化法によりできた川崎ハイテクリバーから選出されたことなどでした。

過去との比較というだけでなく、エピソードも盛りだくさんでした。
筆起こしを相楽が担当してやっております。20年記念誌をお楽しみにお待ちしております。

産学官交流サロンのコーナー

気楽に参加できる『神奈川新産学公交流サロン・よこはま』第3回以降の開催案内

「神奈川新産学公交流サロン・よこはま」は、目的を県内の新産業創出、育成支援とし、多くの経済団体や企業、大学機関、公的機関の方々が個人ベースで、自由に、気楽に参加できる「交流型解決機能」を持つサロンとして、起業家や中小企業が抱える技術、経営上の様々な課題のテーブルマッチングを図ります

<第3回>

日時： 11月18日(木) 18:00~20:30

場所：(社)経営開発情報機構 横浜市中区南仲通3-35 横浜エクセレントⅢビル 9F会議室

参加費：1,000円(テーブルディスカッションでの軽飲食代)

話題提供：NPO法人「横浜にLRTを走らせる会」副理事長 古川 洋氏

第3回幹事団：河津明男、小林健一、杉本明子

<第4回>

日時： 12月16日(木) 18:00~20:00

第4回幹事団：河津明男、魚崎誠也、三好秀人

お問い合わせ：

「神奈川新産学公交流サロン・よこはま」幹事長：(社)経営開発情報機構 理事長 河津明男
横浜市中区南仲通3丁目35番地 横浜エクセレントⅢ

TEL 045-212-5546 FAX 045-212-5547 E-mail idea-info@ideabank.or.jp

！第4回三浦半島経済人サロンの報告！

八幡BC

今回は、既にご案内のチラシでお知らせしているように、11月25日(木)いつもの神奈川新聞社横須賀支社5F会議室で18時から開催の予定です。本年最後の定例会に当たるため、忘年会を兼ねた交流懇親会を企画しています。

話題提供の講師には関東学院大学工学部で都市工学専攻の名物教授「昌子 住江博士」が、現在学生と一緒に追浜の商店街を活性化している姿を紹介し、皆で考えて貰うことを狙いとしています。空き店舗の1Fに海洋深層水を利用した葡萄酒醸造所を設置し、2Fはコミュニティ施設とし、地域に向けて開放し、既に夏ごろから「味噌づくり」等の講習会を開いたりして、元気を取り戻す活動に入っているナマの様子が伺えます。皆様のご来場を歓迎いたします。

かわさき経済人ネットワークサロン第6回のお知らせ

川崎サロンは2月スタートより既に6回目を迎えます。今回はKTF(神奈川高度技術支援財団)が進めてきた県内14大学の研究成果を育成し、実用化につなげるRSP事業(Regional Science Promotion)の具体例を紹介いただき皆様で意見交換をしたいと思います。

日時：12月8日(水) 18:00~20:15

場所：かながわサイエンスパーク(KSP)内(株)ケイエスピー西棟3F 310会議室

参加費：1000円(懇親会費)当日払い

申し込み：FAX045-633-5194神奈川異グ連(芝、志村、田中、小野川)

電子メール：s-tanaka@saturn.dti.ne.jp 田中繁夫

かながわ異グ連会員の方、会員でない方、どなたでも自由に情報交換・投稿が出来ます。

(投稿先：事務局スタッフ小野川利昌 onogawa@hkg.odn.ne.jp、FAX044-954-6254

相楽 守 mamorusagara@mve.biglobe.ne.jp FAX03-3701-9712)